

組織

会長	藤嶋 幹子	(鷹巣東小学校)			
副会長	三澤 正敏	(成章小学校)	渡辺 俊春	(南小学校)	
	松田 由佳	(阿仁中学校)			
事務局	佐々木 亜希子	(田代中学校)	沼田 桃子	(森吉中学校)	
県役員					
[研究部]	沼田 桃子	(鷹巣中学校)	[事業部]	深川 千幸	(森吉中学校)
[事業部]	木村 明美	(米内沢小学校)			
会計	コリガン 麻衣	(北陽中学校)	佐々木 由美	(北陽中学校)	

主な事業

大北造形研究会総会（4月）
→メール配信型で行った

第62回秋田県児童生徒美術展地区審査会
第44回絵を見て語る会
(11月26日) 会場：田代公民館

造形教育研究会北ブロック
(能代山本) 大会大北から実践発表
小学校：鷹巣小学校豊田良香
中学校：第一中学校コリガン麻衣

最終理事会
美術展賞状の仕分け作業
(1月28日) 会場：田代公民館

研究会の記録

今年度から、秋田県児童生徒美術展地区審査会と「絵を見て語る会」(研修会)を同日開催とし、感染症予防対策をしながら、半日でコンパクトに行うことができた。例年と比べて出品数が制限されているため、出品数、選考数ともに少なく、少し寂しさを感じられた地区審査会ではあったが、出品された作品はどれも児童生徒の思いが詰まった唯一無二のものであった。

地区審査会では、小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校という4つの部門で審査を行うが、会員数が年々減少しているため審査員も少なく、各部門3~4人という限られた人数での審査となった。小学校の先生方は小学校の審査、中学校の先生方は中学校の審査をすることが多いのだが、来年度からは、審査員の校種を織り交ぜながら各部門に配置することで、子どもの9年間の学びの連続性を意識しながら作品を見て、審査や研修を深められるようにしたい。



絵を見て語る会発表場面



全体会の様子

話題作に選ばれた小学校1年生の作品→
画面いっぱい好きなものが描かれ、
描くことの楽しさが伝わってくる。

